

社会資本整備審議会道路分科会 平成 27 年度第6回中国地方小委員会  
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 28 年 3 月 8 日(火)13:30～15:30

2. 場 所

広島合同庁舎 2号館 7階 共用5号会議室

3. 出席者

<委員>

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| ◎ 小池 淳司 | 神戸大学大学院工学研究科 教授               |
| 飯野 公央   | 島根大学 法文学部 准教授                 |
| 小嶋 光信   | 両備グループ代表兼CEO                  |
| 福田 京子   | 地域づくりネットワーク 代表                |
| 山田 知子   | 比治山大学 現代文化学部 マスコミュニケーション学科 教授 |

※敬称略 ◎は委員長代理

4. 議 題

- (1)新規事業採択時評価について  
一般国道9号(山陰自動車道)福光・浅利道路  
一般国道491号(山陰自動車道)俵山・豊田道路

5. 結論

- 一般国道9号(山陰自動車道)福光・浅利道路、一般国道491号(山陰自動車道)俵山・豊田道路の新規事業化については妥当である。
- 地域の公平性の観点から、地方部の道路はB/Cだけでなく、地方が真に必要なとする道路整備が可能となるよう、さらなる評価手法の検討が必要。

## 6. 委員からの主な意見

### 【一般国道9号（山陰自動車道）福光・浅利道路】

- ・新規事業化については妥当と判断。
- ・この地域は被災から復旧までの時間がかかると想定される。当該道路の整備により代替性が確保され、災害時の通行への支障が回避される。

### 【一般国道491号（山陰自動車道）俵山・豊田道路】

- ・新規事業化については妥当と判断。
- ・当該道路は、地域の意見聴取でも多数寄せられた様に、水産業などの産業振興にも大きく寄与することをしっかりと打ち出すべき。
- ・当該道路の整備のみではアクセス道路への大型車流入が増加するなどの可能性があるため、その他の区間についても早期に検討を進めるべき。

### 【その他全般】

- ・防災機能の評価は個別の評価では意味がなく、相対的な評価をすべき。
- ・高規格道路は、ネットワークB/Cを用いて評価することで、効果を一定程度評価できるが、地方部の一般国道等は、B/Cでは整備の必要性を十分に評価できないケースが想定される。
- ・地域の公平性の観点から、地方部の道路はB/Cだけでなく、地方が真に必要なとする道路整備が可能となるよう、さらなる評価手法の検討が必要。

以上